

---

# 花言葉

暁

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

花言葉

### 【コード】

N5083Z

### 【作者名】

暁

### 【あらすじ】

某小説賞に応募して落ちた作品を、ほんの少し変えた作品です。作品内の花や花言葉は、全て本で調べた実在の物です。そして、4は死ではなく、幸せの4です。忘れな草には『あなたを忘れない』、『私を忘れない』などの意味もあるそうです。

僕は藤 匠。僕には好きな人がいる。僕と同じ大学にいて、花が好きで花屋でバイトしている、土田 光さん。

光さんに告白したいけど、僕には気持ちを伝える声がない。僕の書く字は汚い。手話は難しく出来ない。だから、どう告白すればいいか、日々考えている。

「匠、光が実家に帰るの知ってるか？」

友人が話し掛けてきた。僕は首を横に振る。

「明日、朝8時の電車で実家に帰って、実家の稼業を継がなきゃならないんだって。寂しくなるから見送りはいいって言ってたけど、匠は行った方がいいよ」

どうしよう…まだ思いを伝えてないのに…あっ！あの方法で思いを伝えてみよう！

翌日、駅に行くと、光さんは電車に乗る寸前だった。僕は慌てて光さんの元へ行き、光さんの腕を掴む。

「匠くん…来たんだ」

僕は光さんに4本の花を渡す。

紫の杜若かきつばたの花言葉は『思いを伝える』。

黄色のカランコエの花言葉は『たくさんの小さな思い出』。

白のクレオメの花言葉は『小さな愛』。

そして、赤いチューリップの花言葉は…『愛の告白』

「……ありがとう。私、また必ずこの町に帰ってくるから、その日まで待っていてくれる？」

僕は頷く（うなづく）。そして、電車は光さんに乗せて走り出す…。

1か月後、光さんから押し花のしおりが届いた。その押し花の花は、紫の忘れな草。

そして紫の忘れな草の花言葉は、『**真実の愛**』

(後書き)

この小説はシリーズものですが、第2作目は小説賞に応募、審査中のため、投稿出来ません。しばらくお待ちください。  
この作品のコメントなど頂けると嬉しいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5083z/>

---

花言葉

2011年12月17日04時58分発行